

今週の

いきもの広場

① ミツボシキリガの幼虫



エノキの葉を半分に折りたたんで巣を作り、中から葉を食べながら成長します。

② ナミテントウの幼虫



アブラムシ（矢印）を食べるため農業においては益虫として知られています。この後、まゆを経て、成虫になります。

③ アシベニカギバの幼虫



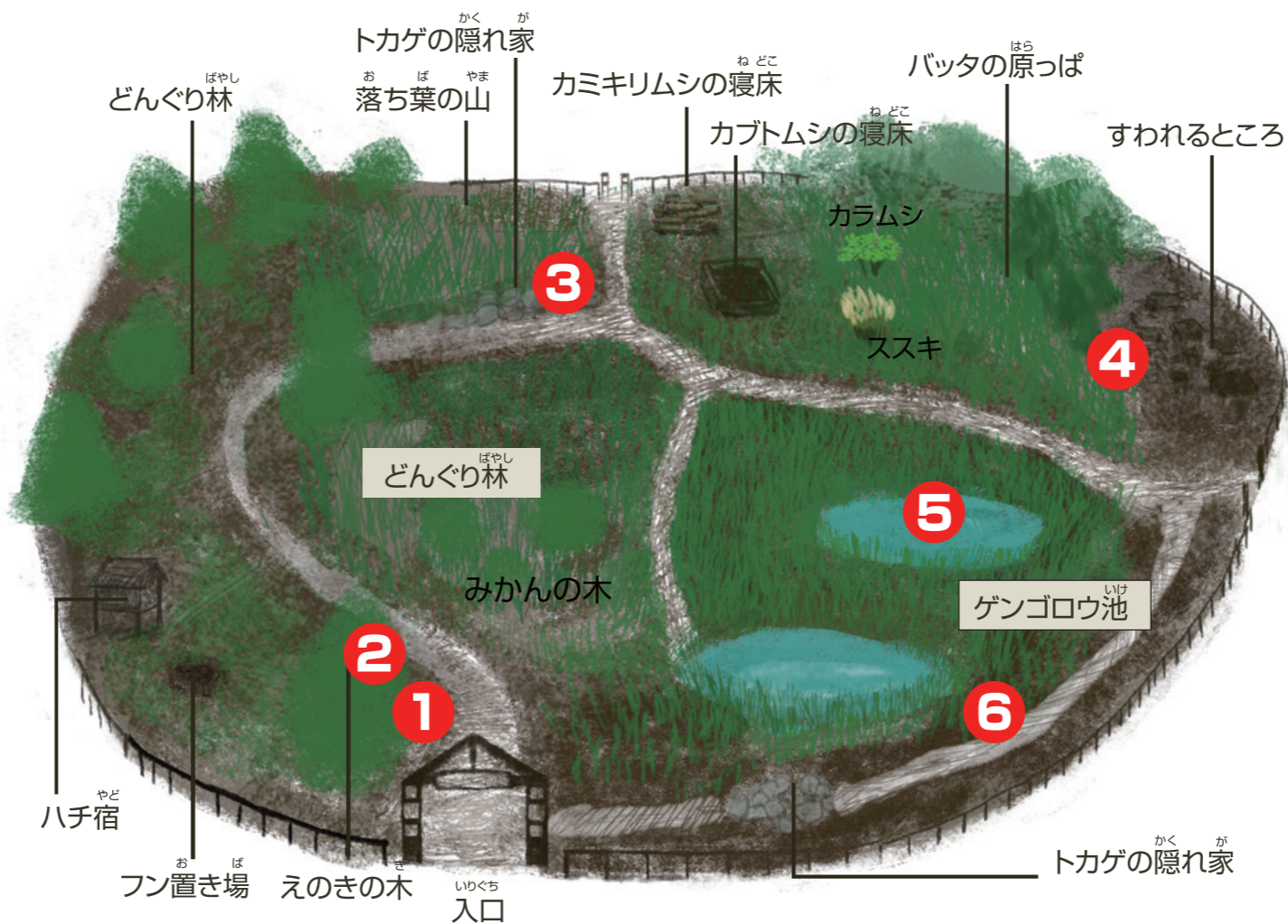
ガマズミの葉が食草です。カギバの仲間の幼虫は尾の部分にしっぽのような長い突起（矢印）を持っています。

④ クルミマルハバチの幼虫



クルミが食草で、葉裏を探すと見つかります。背中にひらひらとした白い蠟状の物質をまとっています。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。5月に入り、あたたかな日差しの下、いきものたちの活発な姿が見られるようになりました。



⑥ アカバキリガの幼虫



①のミツボシキリガとよく似ていますが、こちらはクヌギの葉を折りたたんだ巣を作ります。

⑤ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月23日に池で卵が見つかり、4月7日にはオタマジャクシがふ化しました。



活動日以外は池を網でおおっています
広場の池のオタマジャクシは、そのままと野生のカモに食べられてしまいます。上陸するまでの約1ヶ月、活動時間以外は網でおおっています。